

聖書の預言 確かなものですか (エルサレム編 1)

世界の中心

世界の中心都市と言えどどこを思い浮かべるでしょうか。
多く人はニューヨークを思い浮かべるかもしれませんが。

確かにニューヨークは、ウォール街で象徴されるように経済的な面でも、国連本部があることからして政治的な面でも世界の中心といえるかもしれませんが。

聖書の中にも「世界の中心」という言葉が出てきます。
そこで世界の中心と呼ばれているのがエルサレムです。
(エゼキエル 38:12)

世界の中心 エルサレム



エルサレムは世界の四大宗教のうち三大宗教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム教）の聖地でもあり、地理的にもアフリカ大陸、ヨーロッパ、アジアと結ばれている要といえる位置にあります。
歴史的にも重要な都市であることは間違いありません。
勿論、神の目から見て重要な都市であることはいうまでもありません。

エルサレムの歴史

エルサレムが聖書の中に最初にあらわれるのは、前2000年ごろのアブラハムの時代です。
当時エルサレムはサレムと呼ばれ、そこにはサレムの王であり祭司であるメルキゼデクが治める小さな都市国家を形成していたようです。
アブラハムにとって最大の試練となった一人息子イサクを捧げたところも、エルサレムのモリア山と呼ばれるところでした。

その後、ダビデの時代にエルサレムにはエブス人が居住していましたが、ダビデはエブス人を打ち破り、エルサレムをイスラエルの首都と定め、その地にエホバの神殿を建設する計画を立てます。
そして息子ソロモンがその地に壮麗な神殿を建設します。

その後エルサレムは繁栄を極める都市として成長していきます。

エルサレム滅亡の予言

しかし悪もまたその地に見られるようになりました。
多くの預言者が登場しエルサレムに見られる流血の罪、神に対する不敬、暴虐の罪を断罪し、エルサレムの滅亡を予言します。

例えば前八世紀に活躍した預言者イザヤは次のように述べています。

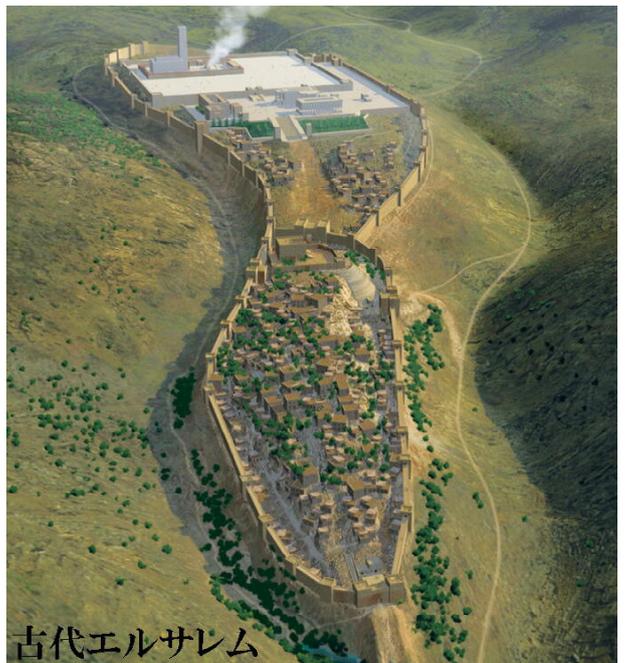
罪深い国民、
重い過ちを負っている民、
悪を行う子孫、墮落した子たちには災いがある！
彼らはエホバを捨て、
イスラエルの聖なる方を侮り、
その方に背を向けた。

あなたたちはもう全身を打たれているのに、なおも反逆するのか。
頭はすっかり病んでおり、
心臓もすっかり弱っている。

頭から足の裏まで、健全な所はない。
傷やあざやただれがあり、
それらは手当てされておらず、包帯も
巻かれておらず、油を塗られてもいない。

あなたたちの土地は荒廃し、
町々は火で焼かれた。
あなたたちの目の前で土地が外国人に
食い荒らされ、
外国人に滅ぼされた荒地のようにな
った。

大軍を率いるエホバが少しの生存者
を残してくださらなかったなら、
私たちはまさにソドムのようになり、
ゴモラと同じようになっていただろう。



古代エルサレム

古代エルサレムの想像図

(イザヤ 1:4-9)

6 私はそこを荒地にする。
枝は剪定されず、地面はくわで掘られず、
いばらと雑草が生い茂る。
私は雲に命じてそこに雨を降らせないようにする。

9 私は、大軍を率いるエホバが誓うのを聞いた。
大きくて美しい多くの家が荒地果てて誰も住まなくなり、
人々はそれを見て恐怖を感じる、と。

12 彼らの宴会には、たて琴と弦楽器、
タンバリン、笛、ぶどう酒がある。
彼らはエホバの行いについて考えず、
その方の偉業を見ようとしめない。

13 それで、私の民は捕囚の身となる。
知識が欠けているために。
身分の高い人たちも飢え、
皆の喉がからからに渴く。

14 墓は自らを広げ、
口を限りなく大きく開けた。
都市の高貴な人たち、騒々しい群衆、浮かれ騒ぐ人たちは、
必ずそこに下る。

15 人は卑しめられ、さげすまれる。
傲慢な人は頭を垂れることになる。

20 善を悪と言ひ、悪を善と言う人たち、
闇を光とし、光を闇とする人たち、
苦いものを甘いとし、甘いものを苦いとする人たちには災いがある！

21 自分は賢いと思い込み、
思慮深いと自負している人たちには災いがある！

22 酒豪として知られている人たち、
酒に香料を混ぜる名人とされている人たちには災いがある！

23 賄賂を受け取って悪人を無罪とし、
正しい人を公正に扱わない人たちにも！

24 火がわらをのみ込み、
枯れ草が炎の中で燃え尽きるように、
彼らの根は腐り、
花は粉のように散らばる。
彼らが、大軍を率いるエホバの律法を退け、
イスラエルの聖なる方の言葉を軽んじたからだ。

25 そのため、エホバはご自分の民に対して怒りに燃え、
手を伸ばして彼らを打つ。
山々は震え、彼らの死体は通りのごみようになる。
民が背いたために、神の怒りは収まらず、
手は打つために伸ばされたままである。

26 神は遠くの国民に向かって旗印を掲げた。
口笛を吹き、地の果てから彼らと呼び寄せた。
彼らはとても素早くやって来る。

27 その中には疲れている者も、よろめく者もない。
誰もうとうとせず、眠らない。
彼らの腰のベルトは緩められてお
らず、
サンダルのひもは切れていない。

28 彼らの矢はどれも鋭く、
どの弓も引かれている。
馬のひづめは火打ち石のようで、
車輪は暴風のような。

29 彼らはライオンのようにほえる。
若いライオンのようにうなり、
獲物を捕まえて運び去る。
助け出す者はいない。



バビロン捕囚

30 その日、彼らは獲物に向かってうなる。

まるで海鳴りのように。
土地を見つめる人は皆、重苦しい暗闇を見る。
光も雲に遮られて暗くなった。

(イザヤ 5:6-30)

数多くの預言者がイザヤと同じように、エルサレムに災いが降りかかり、バビロニアに捕囚にされることを預言します。

前七世紀の預言者エレミヤは40年の間、イスラエルに警告を発し、エルサレムの滅亡を予言します。
例えば次のように述べています。

見よ、わたしは北の方のすべての種族と、わたしのしもべであるバビロンの王ネブカデネザルを呼び寄せて、この地とその民と、そのまわりの国々を攻め滅ぼさせ、これを忌みきらわれるものとし、人の笑いものとし、永遠のはずかしめとすると、エホバは言われる。

またわたしは喜びの声、楽しみ声、花婿の声、花嫁の声、ひきうすの音、ともしびの光を彼らの中に絶えさせる。

この地はみな滅ぼされて荒地となる。そしてその国々は七十年の間バビロンの王に仕える。

エホバは言われる、七十年の終わった後に、わたしはバビロンの王と、その民と、カルデアびとの地を、その罪のために罰し、永遠の荒地とする。

(エレミヤ 25:9-12)

この預言の通りに成ったのでしょうか。

確かに歴史はそのようになったことを証しています。

前607年、バビロンの王ネブカドネザルがエルサレムを攻撃し、イスラエルの民を捕囚としてバビロンに連れて行きます。

エルサレムはその後70年間荒廃することが預言されていましたが、この預言も成就したのでしょうか。

捕囚からの解放

捕囚から解放される時の詳細な様に関してもイザヤは次のように預言していました。

26 自分に仕える者の言葉を実現させ、使者たちの予告通りになるようにする。
エルサレムについて、『そこに人が住むようになる』と言い、ユダの町々について、『それらは再建され、私は廢虚を元通りにする』と言う。

28 キュロスについて、『私の牧者、私が望むことを完全に成し遂げる者』と言う。
エルサレムについて、『建て直される』と言い、神殿について、『土台が据えられる』と言う。

1 私はキュロスの右手を取った。
国々を彼に従わせ、王たちの武器を取り上げ、彼の前で2枚扉を開いて、門が閉じられないようにする。
エホバは自分が選んだ者であるキュロスにこう言う。

2 「私はあなたの前を歩き、険しい土地を平らにする。
銅の扉を粉々に砕き、

鉄のかんぬきを切り落とす。

6 日が昇る所から沈む所まで、
人々は知ることになるだろう。
私以外に誰もいないことを。
私がエホバであり、ほかにはいない。



再び建てられたエホバの神殿（ヘロデの神殿）

7 私は光を形作り、闇を創造し、
平和をつくり、災いを創造する。
私エホバがこれら全てを行っている。

8 天よ、上から雨を降らせよ。
雲は正義を滴らせるように。
地は開いて、救いを豊かに生み出し、
正義をも芽生えさせよ。
私エホバがこれを創造したのである」。

9 自分を造った方と争う者には災いがある！
彼はただの土器のかけらであり、
地面に落ちているかけらの1つにすぎないからだ。
粘土が陶芸家に向かって、「何を作っているのか」などと言うだろうか。
あなたの作品が、「この人には能力がない」などと言うだろうか。
(イザヤ 44:26-45:9)

前539年 メディア・ペルシャの王キュロスがバビロンを攻撃し、バビロンを打ち破ります。

前537年 キュロスがイスラエル人が故国に戻る道を開きます。

エルサレムは聖書の予告通り、70年の安息（荒廃）の後、再び人が住むようになりました。

あなたのさまざまな場所は荒れ果て、人けがなく、あなたの土地は荒廃していたが、
今や住んでいる人たちにとって窮屈過ぎるほどになる。
あなたをのみ込んだ者たちは遠くに離れ去る。(イザヤ 49:19)

と預言されていましたが、まさにそのことが成就したのです。

エルサレムの廃虚よ、喜んで、一齐に歓声を上げよ。
エホバがご自分の民を慰め、エルサレムを救ったからである。(イザヤ 52:9)

エルサレムは再び繁栄の道をたどり、メシアであるイエスの登場を待つこととなります。

エルサレムに関してもエホバの言葉は、必ず成し遂げられたのです。

今回はその後のエルサレムの預言について考察してみたいと思います。